

123I-IMP を用いた脳血流シンチにおける最適な CIScore 算出法の検討

1. 研究の対象

2018 年 4 月以降、当院において IMP を用いた脳血流シンチを行っており、アルツハイマー型認知症もしくはレビー小体型認知症と診断された方

2. 研究目的・方法

抗精神病薬の特定の副作用がレビー小体型認知症 (DLB) に現れるため、アルツハイマー型認知症 (AD) との鑑別は大変重要です。DLB における支持的バイオマーカーとして FDG-PET における Cingulate island sign (CIS) や脳血流 SPECT における後頭葉の取り込み低下が提唱されています。FDG-PET や ECD を用いた脳血流シンチにおいて CIS をスコア化した CISCare が鑑別に有用な指標としてエビデンスが存在しますが、IMP を用いた脳血流シンチにおいてエビデンスが少ない状況です。

本研究において、IMP を用いた脳血流シンチにおける CISCare の有用性を検討するとともに、最適な画像再構成条件や算出時 VOl の設定についても検討を行います。

なお、これらの検討は検査で得られたデータを用いた後ろ向き研究（今までの画像のデータを解析する研究）にて実施します。

研究期間：医学部倫理審査委員会承認後から 2022 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：画像データ、疾患名、年齢、性別等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：高知大学医学部附属病院 放射線部 林 直弥

〒783-8505

高知県南国市岡豊町小蓮185-1

TEL：088-866-5811__